

ほまれ通信

2023年1月号

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。三が日の賑わいも過ぎ、おとそ気分も抜けつつある頃ですが、皆様お元気でいらっしゃいますか？ ほまれの家横浜では新春からも会計・WEB・デザイン各チームが一丸となって新たな業務に邁進していく所存です。本年におきましても相変わらぬご厚誼を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



令和5年 小寒

ほまれの家横浜 デザインチーム H・S

日本の鉄道 150年の歴史に見る初詣マーケティング大作戦

初詣のルーツは、平安時代から伝わる「年籠り(としごもり)」という風習が起源だそうです。「年籠り」とは、神社の氏子の家々の家長が、大晦日の夕方から元日の朝にかけて、氏神様のいる神社にこもり、新年の豊作や安全を夜通し祈るというもので、時代を経てこの「年籠り」が、大晦日にお参りする「除夜詣」と、元旦にお参りする「元日詣」に分かれたのではないかと考えられています。江戸時代には、元日詣は「恵方詣」とも呼ばれており、人々はその年の恵方にある近隣の神社にお参りしていました。江戸時代までのお正月のお参りは、「氏神」や「恵方」、「縁日」といった決まりにしたがって行われるものだったこの「決まり」が明治時代以降、鉄道の開通とともに大きく変わっていきます。

1872年(明治5年)10月14日に新橋~横浜間で日本初の鉄道が開通し、1899年(明治32年)、神奈川県川崎大師への参拝客獲得を目的に現在の京急大師線の前身である大師電気鉄道が開通します。関東初の電気鉄道のこの路線が開通したことで川崎大師は毎年各地からの参拝客で大いに賑わうこととなり、それまで地元の神社仏閣へ参拝するのが習慣だった初詣を、各地の有名社寺まで電車に乗って参拝に行くという習慣に変えるきっかけとなりました。大師電気鉄道の成功は全国各地の電気軌道敷設、私鉄会社設立に多大な影響を与えることとなり、1889年(明治22年)には四国の金比羅宮参りの参拝客獲得を目的とした讃岐鉄道(現在のJR予讃線、土讃線)が丸亀~琴平間で開業、1909年(明治42年)には成田山新勝寺への参拝客誘致を目的とした京成電気軌道(現・京成電鉄)などが続々と設立され、全国各地の都市部を中心に省線(旧国鉄、現・JRグループ)列車や路面電車の路線網が整備されて行き、明治天皇崩御後の1920年(大正9年)11月1日に明治神宮が創建され、関東大震災を経た1927年(昭和2年)東京の上野-浅草間に、現在の東京メトロ銀座線の一部となる日本初の地下鉄が完成しました。

こうした鉄道網の発達により江戸時代以来の氏神や恵方・縁日の制約に縛られていた初詣は、元旦や三が日に思い思いの神社仏閣へ自由に参拝する現在のスタイルが定着し、第二次世界大戦前から一部鉄道会社が実施していた大晦日から元旦にかけての終夜運行が戦後になってからは全国的に一般化し、民放ラジオやTVなどが相次いで開局すると、年の瀬には鉄道各社の臨時電車や神社仏閣のCM戦略が毎年賑わいを見せて行くことになっていきました。近年はコロナ禍で終夜運行の中止や、ソーシャルディスタンスを保つための入場規制などで初詣と鉄道をめぐる光景、そしてお正月の風景も大きく様変わりしつつありますが、今年の皆様方はどんなお正月を過ごされましたか？



コラム: もらうのもあげるのも嬉しいお年玉

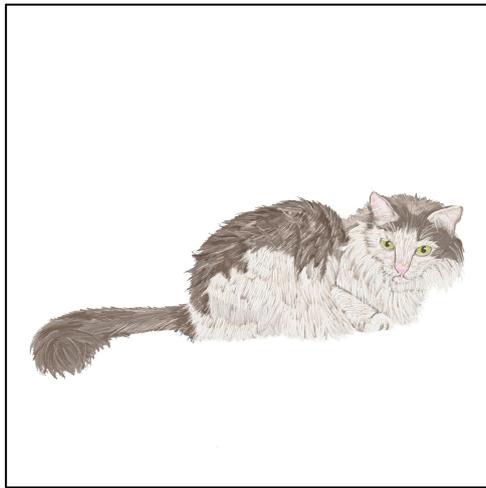


お正月も三が日を過ぎて仕事始めな方々、お正月返上で働いてこれからようやくお休みの方々、お互いにお疲れ様です。不況が長期化して久しい昨今ですが、皆様は自分のお子さんや兄弟姉妹、親戚の子供にお年玉を贈ることは出来ましたでしょうか？ お年玉の起源は神様にお供えしたお餅を下して分け与えたのが始まりで、その由来は年神様の依り代であるお餅には神様の霊力が宿っているため、それを食べることで幸運を分け与えてもらうというものだったそうで、現在でも地方によっては来訪神に扮した大人が家々をまわって子ども達にお餅を与える行事が残っているそうです。筆者の幼少時は毎年お年玉をもらうと貯金……というものは一切せず、毎年プラモデルや各種おもちゃに化けていました(笑)。今の子供たちは堅実な子が多いと思いますが、貯金以外ではゲームへの課金とかが主な使い道なのでしょうか？

筆者は独身ですが、遠方に嫁いだ姉の元に高校生の姪と甥がおりまして、ここ数年は自身の収入がギリギリだったもので、お年玉をあげることが出来なかったのですが、今年は無事に渡すことが出来そうです(この原稿は2022年の12月に執筆)。彼らが産まれてからは毎年クリスマスプレゼントやお年玉を渡すのが大変な半面、「喜んでくれると良いなあ」と彼らの事を考えながらアレコレ仕度をするのが年末年始の大きな楽しみの一つとなっています。姪と甥もすっかりたくましく成長して、もうあと2,3年でお年玉を渡す年齢は卒業してしまう歳になりますが、それまではなかなか会えない彼らの成長に思いをはせつつ、頼りない叔父ちゃんではありますが、お年玉をあげる喜びを教えてくれた彼らを見守って行きたいと願っております。



ほまれギャラリー



新年一回目のほまれギャラリーは当ギャラリーの常連、会計チームのしかさんによるイラスト3点。左はシャム猫、中央はノルウェージャンフォレストキャットという種類の猫。拡大して観ていただけるとお分りの通り、緻密なペン使いと流麗なカラーの使い分けで、今にもしなやかに動き出しそうな生命感を描写しています。右はうって変わって横浜みなとみらいの夜景をPOPな蛍光カラーで華やかかつ、エレガントに描写した一枚。横浜の大晦日の風物詩、氷川丸の新年を告げる汽笛が聞こえてくるようですね……♪

改めまして本年もほまれ通信をご高覧の程、よろしく願いいたします。

株式会社クオリティロード
就労継続支援 A 型事業所
ほまれの家 横浜

